

# 平成二十三年 度 全日本珠算選手権大会が沖繩にて開催される

競技部 荒木田富枝

八月九日、平成二十三年度全日本珠算選手権大会が那覇市の沖繩県立武道館において今年度は韓国二名、アメリカ一名、計五四七名の参加で開催されました。静岡県からは十七名です。

台風を気にし、例年より一日前の出発と計画を立て、選手達が遠い地で、自分の力が存分に出来るよう期待しながら静岡空港より飛び立ちました。沖繩は前日までの台風の影響もなく、ほっと一安心でした。

開催地が沖繩ということ、東日本大震災の影響等ないのかと心配されましたが、今までより多くの人たちと会うことができてうれしいことでした。沖繩県の盛り上がり方はすごいものでした。その反面、昨年優勝の石巻の土屋宏明さんの参加が少なく少し寂しい気もいたしました。

八月八日朝九時より十二時までホテル会議室で静岡県全員による合同練習をし、午後は沖繩県立武道館に於いて、大会の抽選を行います。



た。今年は場所の抽選のみで、ゼッケン・名簿等は大会日の朝とのことで、少し手際の悪さも感じました。

そして午後三時十五分より五時までの例年通り競技会場が開放され、静岡県選手総勢十六名が個人総合競技、都道府県対抗競技など、熱のこもった仕上げの練習をいたしました。丁度、都道府県対抗競技の担当の委員の先生方が練習をするので、御希望の県があれば参加して下さいとのこと、早速、和久田選手、野末陽選手、山崎選手、黒沼選手と一緒に練習場所に、愛知県・東京都・静岡県・沖繩県がスタンバイ。

はじめ、愛知・静岡・東京で練習試合、ダントツで愛知そして静岡つぎに東京、練習なので一番負けるところが抜けて、今度は愛知・静岡・沖繩、やっぱり愛知がダントツで次に沖繩、負けてしまった静岡ですが、翌日の大会当日にがんばろうね。抽選で愛知県とはあたりませんように…。

八月九日、午前九時生駒副理事長の開会宣言、例年のように大会参加全

選手の氏名がスクリーンに各県別に映し出され身の引き締まる思いがした。

梶川眞秀理事長より主催者挨拶の中で「沖繩県は初の開催となります。太平洋戦争によつて焦土と化した沖繩、一九五五年に沖繩県支部が誕生してから、現在の受験者数は全国で常に上位、過去の十段合格者は珠算・暗算とも日本一を記録

しています。特に競技関係では、全日本通信珠算競技大会に於いて多くの日本一を輩出し、全日本珠算選手権大会に於いても都道府県対抗競技や個人種目別競技にでも日本一を獲得し、正に珠算王国沖繩の名を全国に轟かせています。永年に亘る努力の結晶であり敬意を表さずにはいられません。これから小学校一年生から六十代の選手、北海道から沖繩まで五四七名が参加して日本一を目指して熱戦が繰り広げられようとしています。選手の皆さんは、この大会に出場するため、日々熱心に練習に励んでこられたことと思います。この大会を制して「そろばん日本一」の栄冠を獲得するには、心技体の充実が強くもとめられます。厳しい練習で育んできた、誰にも負けない不屈の精神力、創意工夫を積み重ねて得た技、どのような環境にも負けない体力が不可欠です。今年も歴史に残る熱戦



を期待いたします。」との梶川理事長挨拶、文部科学省・沖繩県知事ほか来賓挨拶、最後に沖繩県代表選手による選手宣誓があり、いよいよ競技開始。

## 《フラッシュ暗算》

予選五問、静岡県選手は全員通過し決勝に入る。優勝は岩手県の笹野健夫選手。連続優勝。三桁十五口一七七秒。ギネス記録更新、高校生の時から見ている選手だけに今中学校の先生をしながらこの成績には感服するのみです。静岡県では大杉麻実選手が、あと一問のところに入賞を逃して誠に残念。

## 《個人総合競技》

満点で北海道・道東の若松尚弘選手が、そろばん日本一に輝いた。フラッシュ暗算優勝の笹野選手と同じ三十七歳若松選手も小学校の頃から全日本通信には話題の選手だったので、長い間